



学校だより

# 清流

立山町立立山中央小学校

令和4年5月

## 大きく育て心とからだ ～ 感謝の気持ちを言葉に ～

教頭 村井 政雄

子供たちの楽しそうな歓声が薫風にのり、学校中が活気に満ちています。学校では、日々の諸行事や学習活動を通して、子供たちの「心」と「からだ」がぐんぐん育っています。保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご支援に感謝申し上げます。

最近、登校時になるべく児童玄関の内外で子供たちを迎えるように努めています。子供たちが登校し、挨拶を交わし合うことのできる何気ない毎朝の光景に、何度となく感謝の思いでいっぱいになりました。何よりも、子供たちが元気に登校できているのは、ご家庭の並々ならぬ愛情や励ましがあるからです。重ねて、地域の方々が、「おはよう」「いってらっしゃい」等の温かな声かけをされ、子供たちを見守ってくださっていることも、大変ありがたいことだと感じています。

先日、ある教室で「やさしい人（ぽかぽかさん）が使う言葉」として「ありがとう」が紹介されている掲示物を見付けました。「いいなあ」と思いつつも、ふと、「子供たちは感謝の気持ちを素直に伝えることができているだろうか」と振り返ってみました。人は、感謝の言葉を思い浮かべるだけでも気持ちが満たされるものです。また、相手に感謝の言葉を伝えることで相手との関係がさらに良好になり、自分自身も自己有用感が高まり、気持ちが満たされます。しかし、自分の思いを素直に言葉にすることが苦手だと感じたり、恥ずかしいと感じたりしている子供たちもいます。まずは、周りの大人が子供たちのよいところや素敵だなと感じているところ、できるようになったこと等に目を向け、褒めたり「ありがとう」と感謝の気持ちを素直に伝えたりすることを続けていくことが大事ではないかと思います。感謝の気持ちを伝えられたり、褒められたりして心が満たされた子どもたちは、今度は、自ら思いを言葉にしていくものと考えています。

子供たちには、「自分を大切に思う心・感謝する心を大切にする子」に育ててほしいと願っています。そのために、日々の教育活動を通して、「進んでさわやかな挨拶ができること」「相手の立場が分かり、互いに思いやりながら学校生活を楽しむこと」「自分も友達も大切にできること」の素晴らしさを実感できる機会を少しでも増やしていきたいと考えています。教職員一同、力を合わせて子供たちを支えてまいります。ご家庭でも、ぜひ、子供たちの学校での様子について耳を傾けていただき、子供たちの良いところを大いに褒め、認めてあげてください。



## 5月の学習活動から

### 色団結団式（全校児童）〔5月6日（金）〕

色団、なかよし班の結団・結成式を行いました。その後、縦割り班の仲間と一緒にゲームに協力して取り組み、班の絆を深めました。



色団結団式の様子です



班の仲間との顔合わせの様子です



班の仲間とゲームを楽しんでいます

### 立山っ子、ふなっ子 スポーツ交流フェスティバル（6年）〔5月18日（水）〕

100m走や50mハードル走、リレー、レクリエーション等を通して交流を深めました。



ゲームを通して交流を深めました



100m走の様子です



応援にも力が入ります

### 4年校外学習「来拝山登山」（国立立山青少年自然の家）〔5月26日（木）〕

声をかけ合いながら登りました。仲間を気遣いながら登る姿が素晴らしかったです。



励まし合って登りました



仲良く一休みです



来拝山からの眺めは最高でした

この他にも、子供たちの学習活動の様子を学校ホームページに掲載しています。

【 ホームページアドレス <https://tateyama-chuo-e.edumap.jp/> 】

【お知らせ】 本校児童がラジオ番組に出演します。お楽しみに！

番組名：「きときと！スクールライフ」（NHKラジオ第1放送）

放送日時：6月24日（金）（午後0時20分～午後1時：生放送です）

※ 6年生の代表児童が学校紹介をしたり、「子ども科学電話相談」に出演したりします。